1. 趣旨

この報告書は、平成27年度に策定した「市川市立図書館運営基本計画」の「第三次実施計画(令和3年度～令和5年度)」の実施結果について評価と分析を行い、今後の図書館運営に活かしサービスの向上に資するものである。

2. 実施結果・評価概要

図書館運営の目標として立てた3つの柱の下に掲げた全ての事業に取り組むことができた。

一つ目の柱「情報拠点として市民の学びを支える図書館」については、自動車図書館のステーションの増設や図書館ホームページのリニューアルなどの非来館型サービスを拡充した。また、関連施設と連携して図書館サービスの拡大を図り、市北部地域の利用者の利便性の向上につなげた。二つ目の柱「子どもの成長をサポートする図書館」では、コロナ禍で中止していたイベントを段階的に再開し、新たに読み聞かせの動画を配信するなど、子どもたちと図書館や本を結びつけるための事業を展開した。三つめの柱「地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館」では、地域行政資料の収集を積極的に行い、行政各部署等と連携した取り組みを行った。全体として、目標はほぼ達成することができ、3カ年の図書館運営は一定の成果を上げたといえる。

今後は、次の2カ年で予定している電算システムの更新に向けて、電子資料等媒体にとらわれない情報資源や非来館型サービスについて調査及び導入を検討し、効率的、効果的な図書館運営を進め、市民が全市域で様々な図書館サービスを利用できるよう努めていく。

[3カ年の実施結果と評価]

一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

施策の方向

様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持

図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実

関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供

具体的な施策

- ・蔵書の維持と更新
- ・利用に応じた様々な形態の資料の充実
- ・効果的な蔵書管理
- ・資料保存のための書庫の確保

- ・レファレンスサービスの充実
- ・利用しやすい情報環境の整備
- ・生涯学習機会の拡充

- ・関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実
- ・大学図書館との連携と利用の促進
- ・ボランティアとの連携強化

令和3年度～令和5年度の主な取り組み内容

資料の更新／寄贈資料の活用／IC 機器の活用／セルフ貸出機の増設(行徳)／レファレンスサービスの充実／事例集「参考業務月報」・パスファインダーの発行／自動車図書館ステーションの増設／図書館ホームページのリニューアル／動画配信開始／座席の一部を学習席へ／公民館図書室でのリクエストサービスの拡大(大野・西部)／公民館図書室の開館日拡大(大野・西部・曾谷)／返却ポストの増設／図書館関連ボランティアとの連携(コロナ禍で休止していた活動の再開・障がい者向け資料の作成)

評価と今後の方向性

評価	☐ 充分達成できた	☒ 概ね達成できた	☐ やや不十分だった	☐ 不十分だった
新型コロナウイルス感染症の流行による社会の変化に伴い、自動車図書館ステーションの増設や図書館ホームページのリニューアル、メールレファレンスの充実といった非来館型サービスの拡充を図った。また、返却ポストの増設、関連施設の開館日やリクエストサービスの拡大など、北部地域の利便性を高めることができた。蔵書については、バランスを考慮した資料の収集・維持を図りつつ、電子資料等媒体にとらわれない情報資源の導入・整備に努め、幅広い情報が得られるような図書館を目指した取り組みを引き続き進めていく。				

二つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

施策の方向

発達に応じた豊かな読書のための
環境整備

公共図書館と学校等との連携の強化

具体的な施策

- ・児童・青少年資料の充実
- ・行事の実施と情報の発信
- ・レファレンス・読書相談の実施
- ・ヤングアダルトサービスの実施
- ・出張おはなし会・学級招待の実施
- ・調べ学習及び読書環境向上のためのサポート

令和3年度～令和5年度の取り組み内容

資料の更新／関連機関と連携したイベントの実施／図書館ホームページにこどもと YA のページを新設／読み聞かせの動画配信開始／推薦図書リスト・パスファインダーの発行／「YA 通信」の発行／YA サポーター活動の実施／中高生作成の POP の展示／出張おはなし会・学級招待の実施／保護者対象の講座を実施／教育センターとの連携による調べ学習に対応した資料提供

評価と今後の方向性

評価	☒ 充分達成できた	☐ 概ね達成できた	☐ やや不十分だった	☐ 不十分だった
<p>コロナ禍で中止していたえほんの会や、関連機関との連携イベント、出張おはなし会など、感染防止に努めながら段階的に再開した。図書館ホームページのリニューアルに伴い、こどもと YA のページを新設し、新たに読み聞かせの動画を配信するなど、子どもたちと図書館や本を結びつけるための情報発信に努めた。令和5年度に施行された「市川市子どもの読書活動推進計画」の第二次計画に基づき、今後も、子どもに興味や好奇心を持たせるような資料の収集・更新に努めることで、子どもたちが多くの本に出会う機会を創出し、子どもの発達段階に応じた読書体験をさらに広げる取り組みに努めていく。</p>				

三つめの柱 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

施策の方向

市川市の歴史・文化の保存と継承

行政の情報拠点としての役割

具体的な施策

- ・地域資料の収集と提供
- ・地域資料の保存
- ・地域情報の積極的な発信
- ・行政情報の市民への提供
- ・行政各課への情報発信

令和3年度～令和5年度の取り組み内容

地域行政資料の積極的収集／特別コレクションの新刊から古書までの積極的収集／館内 Web-OPAC のデジタルアーカイブシステムへのコンテンツ追加／地域資料のパスファインダーの発行／関連部署と連携し「SDGs ブックコーナー」を設置／関連部署、機関と連携した行事や展示の実施／市の刊行物の販売と市民向け各種冊子類の配布

評価と今後の方向性

評価	☒ 充分達成できた	☐ 概ね達成できた	☐ やや不十分だった	☐ 不十分だった
<p>地域行政資料は、寄贈を中心に、新刊書から古書まで収集を積極的に行い、蔵書冊数は前年比増との目標値を大きく上回ることができた。館内 Web-OPAC のデジタルアーカイブシステムを活用してコンテンツを追加、「市川市歌」など市川の音楽を試聴できるようにした。また、地域資料のパスファインダーを発行し、ホームページで公開、広く市民が利用できるような環境の整備に取り組んだ。関連部署と連携し、中央図書館の書架を利用して一般書と児童書が混在した「SDGs ブックコーナー」を新たに設置した。引き続き、行政各部署等と連携し、幅広く資料の収集を行い、市川市の歴史と文化の保存と継承に努めていく。</p>				